

法人たより『縁結び』の発行

社会福祉法人クローバーも今年で13年、そして念願の法人本部と事業所が一体となった建物が7月に深谷町に完成致しました。ご協力くださったみな様ありがとうございます。

さて、このクローバーの成り立ちは、小さな4つの運営委員会からなる別々の事業所が一つになってできた法人です。もう15年くらい前、法人を作ろうと決めた時、4つの事業所の結びつきを強めるために発行した便りがあります。それが『縁結び』。この度、新しい深谷の仲間に入れていただき地域の皆さまとより強いつながりを持ちたくて、このお便りをもう一度発行することに決めました。地域の皆さまと日頃からクローバーを支えてくださる皆さまに、クローバーの事業所の情報を、お届けをいたします。どうぞよろしくお願い致します。



あらためてお知らせいたします 2016年07月 開所

社会福祉法人クローバー

(生活介護事業所クローバー)

住所：〒245-0067 戸塚区深谷町 826-1

生活介護事業所って何？

障がいのある方(18歳以上)に日中、創作活動や生産活動の場を提供したり、身体機能または生活能力の向上に必要な援助や相談支援をおこないます。

クローバーでは30名前後の利用者さんが月～金の日中に活動をしています。

福祉サービスのこと ご相談ください

福祉サービスのこと、ご不明なこと、不安なことなど何かありましたらお気軽にご相談ください。

クローバーは主に知的な障がいのある方々の施設ですが、障がいにかかわらず福祉サービスのことでの相談をお受けします。



内覧会を開催しました

内覧会



(7/17日)

お忙しい中、ご来場ありがとうございました。二日間で約80名の方がお越しくださいました。実はそんなに大勢の方がみえると思っていなくて…粗品が行き届かなかったり、対応が十分にできなかったり、不手際の数々申し訳ありませんでした。まだ落ち着いていませんが、クローバーはいつでも歓迎です。見学に来てください。

写真は近隣の老人ホーム和みの園の施設長さんたちに挨拶をする、クローバーの利用者で評議員の河内さんです。



この旗が目印！

社会福祉法人クローバーは戸塚区社会福祉協議会が中心になって作る『地域とつながる連絡会』に参加しています。

この連絡会は高齢、児童、障がい、その分野を超えて協力し合い地域の問題解決にあたることを目指して作られた集まりです。

地域の皆さんのお力になりたいと思っています。

お気軽にご相談ください。

色々な報告

1. 健康診断を実施

06月27日、港南区の清水橋クリニックにて、利用者の皆さんの健康診断を実施しました。

健康診断…以前は法人内の事業所で実施していましたが、今は出張での健康診断が難しいとのこと。

初めて法人で健康診断を実施した頃は、何をされるかわからずドキドキで大騒ぎでしたが、今では皆さん余裕で、採血前もVサインだったと報告がありました。

そのかわり今は送られて来る結果

2. 選挙に行ってきた

先日実施された参議院選挙。グループホームで生活されている皆さんが選挙に行かれるよう、ガイドヘルパーの手配等、お手伝いをさせていただきました。

ガイドヘルパーと一緒に選挙に行かれた入居者は、難しかった、でも隣にお手伝いをしてくれる人がいたので大丈夫だった。そんな感想をいただきました。

でも、今回は準備を始めたのが遅く、投票用紙が実家に届いてしまい間に合わなかった方もいて申し訳ないことをしてしまいました。次回はもう少し余裕を持つ

夏休みのお知らせ



夏休み

08月12日(金)～16日(火)

◎生活介護事業所

クローバー(深谷町)

◎Begin(上矢部町)

◎いとぐるま(上矢部町)

夏休み中お困りのことがありましたら下記に連絡ください。

080-3552-5168

グループホームは夏休み中も通常通り、入居者の皆様が生活しています。

理事長で管理者をさせていただいている高橋良壽(たかはしりょうじゅ)ともうします。

社会福祉法人クローバーができて13年。こんな立派な所で仕事ができるようになりました。建物に恥じないような支援をしていかなければいけないと気持ちを引き締めているところです。

クローバーは利用してくださる皆様の意思を尊重し、少しでも皆様の幸福度が増すような場所であって欲しいと願っています。そして僕はアドラー心理学(ただいま巷で流行中)の理論をベースにした支援を展開中です。一人一人がいつも自分らしくいられる場所、自分らしさを再発見できる場所であることを目指して…。

(声明文) ※抜粋

事件の容疑者は、障害のある人の命や尊厳を否定するような供述をしていると伝えられています。しかし、私たちの子どもは、どのような障害があっても一人ひとりの命を大切に、懸命に生きています。そして私たち家族は、その一つひとつの歩みを支え、見守っています。事件で無残にも奪われた一つひとつの命は、そうしたかけがえない存在でした。犯行に及んだ者は、自らの行為に正面から向きあい、犯した罪の重大さを認識しなければなりません。

また、国民の皆様には、今回の事件を機に、障害のある人一人ひとりの命の重さに思いを馳せてほしいのです。そして、障害の有る無しで特別視されることなく、お互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会づくりに向けて共に歩んでいただきますよう心よりお願い申し上げます。

左の文は、先日発生した事件について、全国手をつなぐ育成会連合会の会長 久保厚子さんがお書きになった声明文の抜粋です。
全文は、全国手をつなぐ育成会連合のHPで読むことができます。
是非、お読みください。

さて、事件後、いろいろ事が報道されていますが、気になるのは犯人の言葉。伝える必要があるのかもしれませんが、盛んに報じられている言葉はとても危険で間違った言葉です。だから、その言葉は間違った言葉で、正しくはこうなんだと、はっきり伝えて欲しいと思います。

今から25年ほど前のことですが、養護学校から実習に来てくれたある一人の生徒ととても気が合いました。彼は言葉もなく、一人で歩いたり食事をしたリトイレに行ったりすることが出来なかったけれど、なんとなく彼と気があったような気がしました。

実は翌年、仕事を辞めようと思い…、次の仕事も半分決まっていたのですが、彼が僕の作業所に来てくれるなら、そう思って仕事を続けることができました。

やがて彼は医療ケアが必要になりクローバーを離れていき、そして数年前に他界してしまいました。

彼が亡くなる数年前にはお父さんが亡くなり、お母さんと二人きりになってしまいましたが、彼はお母さんをずっと支えていました。彼はお母さんに労いの言葉も、感謝の言葉もかけられなかったけれど、お母さんを支えていました。

そう、どんなに障がいも重たくても人は必ず誰かに貢献しています。彼がいなければ僕は別の仕事に移ろうと思っていたので、社会福祉法人クローバーはできなかったかもしれません。彼は最後までお父さんにかわってお母さんを支えていました。障がいのある方が家族にいたら家族が不幸になるわけではないです。それだけはどうして言いたくて。

被害に遭われお亡くなりになられた皆様に心よりご冥福をお祈りし、ご家族の皆様にはお悔やみ申し上げます。また、怪我をされた皆様が一日も早く元気になられるようお祈り申し上げます。そしてこの厳しい状況下にもありながらも普段と変わらぬ支援を続けていらっしゃる職員の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

= 募 集 =

深谷町のクローバーでは近隣の方で調理をしてくださるパートさんを探しています。

一回、35食ぐらいを2人で作ります。週に何回でもかまいません。ご興味のある方、連絡下さい。

時給¥910(10月から¥930)

月～金曜日 10:00～14:00

担当：鎌田(045-392-6926)

クローバーでは安全対策を見直し、徹底するよう各事業所に周知いたしました。

